

1学期の主な活動として、個別相談会、鳳凰祭展示発表準備、定期テスト前学習会を行いました。個別相談会では、学習面や学校生活に関わる悩み、課題を帰国生徒教育担当の教員と話しながら整理し、今後の目標を立てました。5月からは、附中祭に向けて準備を始めています。今回の「つながり」第3号では、先日行われた定期テスト前学習会の様子をお届けします。

定期テスト前学習会の様子



6月19日に定期テスト前学習会が行われました。帰国生徒教育担当以外にも多くの先生方に来ていただき、分からなかったことを質問したり、苦手なことを解決したりすることができました。たくさん問題演習に取り組んだり、友達と教え合ったり、先生の説明を聞いたり、学習の方法はたくさんあります。テストを通して今までの学習方法についても自分で振り返り、次の学習へとつなげていきました。



～保護者の方より～

シンガポールを彩るショップハウス

シンガポールの街を歩くと目に映るのはカラフルなショップハウスの連なる風景です。これはシンガポールの伝統的な建築で、1階は店舗、2階は住宅になっていて、日本の長屋のように壁を共有しながら棟が並んでいます。パステルブルーや鮮やかなピンクや黄色、色とりどりの外観が特徴的で、花々が描かれたタイルや窓枠の装飾は、一つとして同じものがなく、その個性的な美しさが街並みを彩っています。私たちの住んでいた街や異国情緒あふれるチャイナタウンやアラブストリート、どの街角にもその愛らしい姿が自然に溶け込んでいました。ふと顔を上げると、そんなショップハウスの向こうには未来都市のような高層ビル群、一見アンバランスに見えるのに自然に共存するこの風景こそシンガポールの魅力の一つだと感じます。

帰国生徒学習会保護者

住みやすいのは西？東？

わたしたちはカリフォルニアに滞在していましたが、息子が小さいときにはニューヨークで暮らしていたこともあります。そこでよく聞かれるのが、どちらの生活がよかったかという質問。両方とも大好きな場所なので甲乙つけがたいのですが、私の答えはこうです。大人だけで住むならニューヨーク、子連れならカリフォルニア。ニューヨークはミュージカルやバレエなど質の高いエンターテインメント、おしゃれなレストランやカフェなど大人が楽しめるスポットがたくさんあります。当時バレエ鑑賞にハマっていたわたしは、シーズン中何度も劇場に足を運んだものです。ですが、大都会ゆえ学校の校庭や公園は狭くてコンクリート敷き、そして冬は氷点下の寒さになり公園で遊べる日も限られます。一方カリフォルニアはというと、校庭・公園とも芝生が広がっており、年中穏やかな気候なのでいつでも外で遊べます。ボール禁止や自転車禁止なんてこともありません。また、多くのゲートコミュニティやアパートの敷地内にはプールがあり、学校から帰ったら水着に着替えてプールへなんてことも。広いアメリカの西と東。環境は全く違いますが、どちらも住めば都。その土地での暮らしを楽しむのがいちばんですね。

帰国生徒学習会保護者